

# 姫路獨協大学同窓会報

発行所／姫路市上大野 7-2-1 姫路獨協大学同窓会  
TEL (0792) 23-9263 FAX (0792) 23-6513

## 回想録



今年度末をもって退職される先生方よりお言葉を頂きましたのでここに掲載させていただきます。  
長い間お世話になり、ありがとうございました。

一般教育部

桑原 知子 先生



### 姫路獨協大学を 退職するにあたって

この3月31日を以て、11年間勤めた姫路獨協大学を退職して、4月1日より京都大学大学院教育学研究科助教として赴任することになった。京大は母校でもあり、すでに慣れ親しんだところであるはずなのに、なぜか緊張感をおぼえる。辞めることが決まって以来、姫路駅に降り立つたばいになつかしい気持ちでしたり、大学の部屋から木々を眺めるたびに切なさを感じたりもする。

姫路獨協大学は、私にとって、社会人としての第一歩をふみだしたところでもあり、私の30代

の人生と重なって、すでに私の一部となつていようである。そこから出ていかねばならない。そう思う時、姫路獨協大学に対して、愛着というか、いとおしさに似たものを感じるのである。大学に対して、最初からこうした感情をもっていたわけではない。もちろん、私は意気揚々と姫路獨協大学に赴任したのだが、最初から「こけた」。4月の一週目、私は「水ぼうそう」などというとうんでもない病気にかかって、3週間学校を休まねばならなかった。それが私の社会人第一歩の思い出である。あはたを残した顔で、大学に姿をみせた私を待っていたのは2科目（心理学と精神の科学）を合わせて800人をこえる受講生だった。401D教室でそれはそれはにぎやかなこと。後ろの方では、ヘッドホンで音楽を聞きながらトランプをしているし、「聞こえへんやーん」という声があるので「あつ、聞こえませんか?」と言うと、「あつ、こっちの話」と返されたり。私は、呆然と立ちすくすしかなかった。何よりショックだったのは、レポートに書かれた内容だった。ほとんどの人が、希望してこの大学に入ってきたわけではないこと、入ったからも絶望的な気分であること、受験の失敗が傷として残っていることが書かれてあったからである。

### 9期生の皆さん、 卒業おめでとう ございます。

この春をもって卒業される皆さんとともに姫路獨協大学をあとにされる先生方からのメッセージを綴りました。過ぎ去りし時にしばし想いをはせてみてはいかがでしょうか。

### INDEX

回想録	○野口名隆先生	4
○桑原知子先生	1	
○古藤友子先生	2	
○小西典美先生	3	
○齊藤俊英先生	4	
○戸田五位先生	4	
○永合		
○山本輝夫先生	5	
同窓会副会長あいさつ	5	
会計報告		
同窓生のお店紹介		
同窓生だより	6	
OB・OGからのメッセージ		
etc...		



分を表現するというあの喜びを感じることができない。実際以上に自分を過少評価して（これは同時に、もしもだったら自分はずすごいことができるのに、という幻想を伴なっている）、自分を抑え込んでしまっている人たちは、「関係」をつくることも難しい。そこで、ゼミでは、少しずつ「自分を表現」する喜びを知ってもらうようにした。一年の最後には「発表会」も行なう。今でも発表会のビデオが残してあるが、劇、音楽、美術など、いろいろな仕方で自分を表現したものはどれもすばらしいものだった。この「桑原ゼミ」は独自に同窓会も毎年開催していて、今やそのメンバーは200人を越えている。ゼミのメンバー同士で結婚した人もいたり、子供も誕生している。「子供ができました」という写真をみせてもらうと、何だか孫（？）ができたような、うれしい気持ちがある。こうして、ゼミでは、何とか「関係」をもつことができるようになったが、大教室の授業は、授業に行く前に気分がめいるようにさえなっていた。アンケートもとって見た。「どういう時に私語しますか？」「しゃべりたい時」「何を話しますか？」「しゃべりたいこと」という答えだった。私は、どうすることもできなくて、私の大学時代の恩師である河合隼雄先生のところへ相談に行った。その時先生は「たい

へんやなあ。そやけど、まず学生のこと好きにならんとな」とおっしゃった。これを聞いて私はハッとさせられた。それまで私にとって学生は「敵」だったからである。それからは、私はともかく相手を知りたいという考えから、毎週レポートを書いてもらうことにした。書く方も大変だったろうけど、毎週何百枚というレポートをみて、コメントを書いて、返すという私の方の作業も大変だった。いつもホテルに泊りこみ。夕方6時にホテルに入り、すべて見終えるのは深夜2時だった。たいへんではあったけれど、何だか少しづつ「関係」が変わってきたような気がした。（11年間このレポート読みを続けたおかげで、速読術も身についた。）

夢の実習では、夢を記録してもらってそれに対して私がコメントをしたりして授業を行なってきた。一度、まとめて夢を300ほどよんでコメントしたらその晩うなされてしまった。夢が夢、夢、夢となって押しよせてくる夢をみてしまった。それ以来このコメントだけは時間をかけて書くようにしている。

それにしても学生の人たちがよくがんばってついてきてくれたなあと思う。秋頃になると春とくらべて、レポートの書き方が断然進歩してくる。出席率も高くなるし、私話もほとんどな



くなっていた。しんどかったという気もちより、私の方が多くのものを与えてもらったという感じだけが残っている。私は姫路獨協大学に勤められてほんとうによかったと思っているし、多くのことを学生の人たちから学ばせてもらった気がしている。

私も卒業生の人たちと同じように、姫路獨協大を巣立つことになった。新しい世界へ向かうのは、不安と期待が入り混じった複雑な感情を呼びおこすのだけれど、大学で受けとってきたエネルギーを財源として、次なる世界への扉を思いきってあけたいと思う。

卒業生の人たちにとっても、姫路獨協大学での思い出が、貴重な財産となるよう祈念しながら、本稿を終えたい。



外国語学部 日本語学科  
古藤 友子 先生

9期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この春、私も皆さんと一緒に12年間お世話になった姫路獨協大学を巣立つことになりました。

姫路獨協大学の思い出はたくさんありますが、中でも学生の皆さんと過ごした時間は忘れることができません。皆さんから多くのことを学び、また教員という仕事を続ける勇氣と喜びを与えられました。そのことから感謝しております。

これからも皆さんの思い出を大切に、仕事をしていきたいと思えます。またお目にかかる日を楽しみにしております。

（4月からの連絡先）  
〒一八一八五八五  
東京都三鷹市大沢三〇一〇二  
国際基督教大学 ERB327  
〒〇四二二一三三二四八二  
e-mail: F.L.X.kooh@icuc.ac.jp (研究室直通)

**教務課からのお知らせ**

〈各種証明書の手続き方法〉  
 自宅が大学から近い場合は、直接教務課窓口に来て手続きをして下さい。発行まで手続きから約3日かかります。  
 自宅が遠い場合には、郵送で手続きをして下さい。郵送の場合、メモ用紙に学部・学科、学籍番号、氏名、連絡先、生年月日等を記入し、手数料分の郵便小為替と返信用の封筒と切手を同封し、教務課宛まで送って下さい。（英文の証明書の場合は、使用目的と提出先を記入して下さい。）  
 何か分からない点がありましたら、教務課（0792）23-6504までご連絡下さい。

主な証明書の手数料

①成績証明書・卒業証明書（和文）	各100円
②成績証明書・卒業証明書（英文）	各500円
③資格等単位修得証明書	各300円



一般教育部  
小西 美典 先生



姫路獨協大学

同窓生諸君へ

皆さんお元気ですか。私は、雪上実習（スキー）から帰って、黒い顔でこれを書いていきます。私は、この三月末で定年退職です。大学設立以来十二年間、学生諸君と愉快に過ごすことが出来たことを感謝しています。

第一回の卒業生は、もう三十歳になりますね。自営業であれ、お勤めであれ、そろそろ責任のある仕事に就かれる頃でしょう。諸君には、「姫路獨協大学の卒業生は優秀だ」と信頼されるような仕事をしていたくことを切に願っています。そのことが、後輩の為にもなることだと思います。今年は、昨年にも増して就職が難しいようですが、企業にとつてはいつの時代にも優秀な人は必要ですから。

大学も設立当初と比べると相当に変わっています。冷房のない教室で勉強され、「こんな暑い教室では、倒れる人がでますよ」と、当時教務部長であった私に訴えてきた学生に「夏は暑い

が当たり前や」と答え、わざとネクタイに上着姿で学内を歩いて回ったことを思い出します。このことを、私の授業の答案に「この暑いのに態と背広を着て痩せ我慢している先生も居られるようですが」と、皮肉を書いた女子学生もいました。その学生の名前を覚えていました。N・Y・さん、もう結婚されたでしょうか？お幸せを祈っています。また、喫煙禁止であった廊下は、今は「歩行禁止」になっています。廊下を見回っていると、遠くから私を認めて教室に逃げ込んだ学生を追い掛けて行って、「隠れてせなあかんような事をするな」と、意地悪じいさん振りを発揮したことも思い出されます。

クラブ活動を奨励しましたが、一人で三つも四つもクラブに入っている学生がいるために、在学生数よりも部員の数の方が多いということもありました。部室も増築されましたし、学生会館も建ちました。最近、事務室棟も増築されて大学の様子も変わりました。

諸君の拠出していた学友会費の積立金の相当な額を、同窓会の為に使うように取り計らわれましたので、同窓会の活動も活発に行なえるようになったと思います。遠方で活躍されている諸君は、姫路へ来られる機会があれば見に立ち寄って下さい。再度、後輩の為にも奮闘して

外国語学部 英語学科  
齊藤 俊雄 先生



同窓会の皆様

同窓会の皆様は初めてご挨拶を申し上げます。それがお別れのご挨拶となり、真に残念です。ほとんどの同窓生の皆様は私のことはご存知ないと思いますが、私は3年前に大阪大学定年退職と同時に本学にお世話になりました。本学を終の棲家のつもりで赴任して参りましたが、種々の理由から、この度大東文化大学に転任することになりました。

本学では英語学（主に英語史とコーパス言語学）を教えて参りました。少数の皆さんですが、熱心に受講して下さい、こちらの勉強にもなると感謝しております。芦屋から通いましたので時間的には大変でしたが、行き帰りに姫路城を眺めることができ、この上ない楽しみでした。帰りのバスの窓から眺めた夜間照明を浴びた天守群の美しさは、この世のものと思われないくらいで、一日の疲れを癒してくれました。

私立大学は少子化現象でとても危機に直面しております。本学も例外ではありませんが、幸い4月から若くて有能な学長が誕生しますので、無事この危機を乗り切って下さると確信しております、安心して東京に参ることが出来ます。本学と同窓会のご発展を祈ります。

（4月からの連絡先）  
〒六五九〇〇三三  
青屋市高浜町三二二二  
電話（〇七九七）三一九八四四

外国語学部 中国語学科  
橋 英 範 先生

こんにちは。中国語学科の橋です。

姫路獨協大学に赴任して3年、この4月からは岡山大学に移ることになりました。短い間でしたので、ほんの一部の同窓生の方としか知り合う機会はありませんでしたが、姫路獨協大学で過ごした3年間は、とてもよい思い出でいっぱいです。

特に私のいいかげんな授業に出席してくれたみなさん、北京であの暑い夏を一緒に過ごしたみなさん、そして私のややこしいゼミ論指導をこなしてくれたゼミ生のみなさん、本当にありがとうございました。みなさんが今後ますます活躍されることを、心からお祈りしています。

岡山に来られる機会があれば、ぜひ遊びに来て下さい。それはまた、いつかどこかで。

経済情報学部

田村 祐一郎 先生



退任にあたって

この度3月31日付をもって本学を退任し、神戸市西区の流通科学大学商学部勤務になりました。平成元年の経済情報学部発足の年に着任しましたから、満十年勤務したことになります。その間、ゼミや講義で話しを聞いて頂いた皆さんには心からお礼申し上げます。

最初の年に一般教育科目の「社会科学入門」を担当しましたが、皆さんの賑やかなふるまいは小生にはカルチャー・ショックの毎日でした。この科目は本学に来て初めて開講したという事情もあつて、何を、どのようなに伝えれば講義になるのか、考えない日々はなかつたといつても過言ではありませんでした。「商学基礎論」「保険論」「リスク・マネジメント」という専科目も、よほど講義の内容と方法に工夫がなければ、皆さんの



関心をつなぎ止めることができ  
ないことを思い知りました。毎  
回面白そうなプリントを作っ  
て配ったのもそうした工夫の一  
つで、楽しみにしてくれた人も  
いたようです。また、これらの講  
義を通じて教育の面でも研究の  
面でも大いに幅が広がりました。  
この十年間は、その意味でも、  
小生にとって得難い年月であつ  
たと感謝しております。新しい  
大学でも新機軸を打ち出すつも  
りです。

経済情報学部発足の年はちょ  
うどバブルの絶頂期であり、ま  
た天安門事件が起き、世界が激  
動の時代に入った頃でもありま  
した。十年ひと昔と言いますが、  
こんなになるとは不敏にして予  
想することはできませんでした。  
しかし、世相を観るに、日本が  
今転換期にさしかかっているこ  
とは確かなようです。

学部発足の年に入学した人た  
ちは、もうそろそろ責任ある部  
署につく年頃でしょうし、それ  
以降の人たちも元気に活躍され  
ていることと思います。日本経  
済はお世辞にも好調とは言えま  
せんが、来るべき21世紀を担う  
のは間違いなくあなた方です。  
健康に留意しつつ生活も仕事も  
充実した日々を送られることを  
念願しています。そして、講義  
の時に度々言ったように、われ  
われの世代に年金を十分に払っ  
て下さることをひそかに期待し  
ています。

法学部

戸田 五郎 先生

本学を去るに当たって

小学生の頃姫路城観光に訪れ  
てから約20年ぶりに私が姫路の  
本学に赴任したのは、開学2年  
目のことでした。コンクリート  
打ちっ放しの校舎は少し殺風景  
にも見えましたが、法学部で、  
素朴で素直な学生の皆さんと、  
よき先輩、同輩の先生方に恵ま  
れ、本学に赴任して本当によ  
かったと思えました。外国語学  
部の藪下先生をお見かけしたと  
きには驚きました。大学時代教  
養部で英語を習った先生だった  
からです。

経済情報学部

永合 位行 先生

卒業生のみなさん、ご卒業お  
めでとうございます。姫路獨協  
大学にお世話になって10年にな  
りますが、わたしもみなさんと  
同様、この3月で卒業(退職)  
することになりました。みなさ  
んが大学生活をおくられたこの  
4年間は、わたしにとっても大  
変思い出深いものでした。1年  
間の海外生活もそうですが、な  
んといっても4年前の阪神大震  
災の経験は忘れ難いものになっ  
ています。みなさんは、ちょう  
ど受験戦争の真っ最中で大変、  
混乱したのではないかと思います  
ですが、わたしは家が全壊すると

研究者としては今以上に未熟  
な私でしたが、地域に開かれた  
大学を目指すという趣旨にそつ  
て外国語学部の初岡先生を中心  
に国際センターが主催した「国  
際理解講座」での講演や、姫路  
市の職員の方々が集う「地域か  
らの国際化研究会」への参加な  
ど、地域の方々との接触の中で  
刺激を受けることができました。  
また留学に当たっては、姫路市  
の奨学金の給付を受けることが  
できました。30代を本学で過ご  
したことになるわけですが、本  
学並びに姫路の地に育てられた  
と思っております。

年にも恩師である大寿堂鼎先生が  
在職のままお亡くなりになった  
ことでした。夏のはじめに退院  
され、秋からは講義をしていた  
だけだと思っていた矢先に計報  
を聞くことになりました。先生  
のご逝去は、現在転換点にさし  
かかっている法学部にとっても、  
大きな損失であったと思います。  
本学を去る前に「姫路法学」で  
追悼号を出し、また遺稿の出版  
に当たり幸いに本学の出版助成  
を得ることができたことがせめ  
めのなぐさめです。

法学部  
野口 名隆 先生



外国語学部共通専門

山本 輝夫 先生



いう被害を受けました。そのと  
き、とても大切なことを学びま  
した。それは、人と人とのつな  
がりの大切さをあらためて痛感  
したということです。同僚の先  
生や事務の方々にいろいろと助  
けていただいただけでなく、な  
によりうれしかったのは、当時  
のゼミ生が須磨から歩いてわた  
りの家にまでやってきてくれた  
ことです。いまでも思い出すと、  
胸が熱くなってきました。人と人  
のつながりや友人関係が希薄に  
なってきたと言われているいま  
ですが、どうぞこの大学でできた  
友達、先生、事務の方々の関  
係を、今後とも大切にしていっ  
てください。



〈訃報〉

法学部  
伊藤 寧 先生

経済情報学部

能勢 信子 先生  
中村 一雄 先生  
松本 隆一 先生

心よりお悔やみ申し上げます。



同窓生間の繋がりがなくして  
同窓会の発展なし



同窓会 副会長  
三笠 哲也

早春の候、会員の皆様方には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は同窓会活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は多くの方々のご尽力もあり長年の悲願でありました恒久財源の確保に至ることができました。これにより、今まで以上の同窓会活動が可能になるばかりか、同窓生、在学生をも含めた新たなサービスを現在検討しております。また、総会、二回の会報発行も無事に行うことができました。

今年、同窓会組織の強化、事務局内の各種設備の充実、同窓生と在学生との親睦をメインに計画を推し進め将来的には、大学全体をバックアップしていくことを念頭に入れての事業計画の立案、実施を目指して行きたいと考えております。

昨今世間では、戦後最大の失業率、大企業の倒産、リストラ、株式・円の乱高下、銀行の貸し

渋り等、暗い話ばかりが目につき、また、大学関連としては、出生率低下による受験者数の減少等、同窓会を取り巻く環境は厳しくなっております。

このような時期であるからこそ尚更、我々同窓生同士の横の繋がりを強化し姫路獨協大学の卒業生として、誇りを持って行動しなくてはなりません。その為に同窓生からより多くのご意見、ご感想を事務局にお寄せ頂き、また、現在活動しておられるクラブ、ゼミ、サークル等のOB、OG会などと連携、連絡を密にし、より充実した姫路獨協大学同窓会を目指して行きたいと考えております。

最後になりましたが、大学及び、同窓生の益々のご発展をお祈りします。今後とも変わらぬご支援を宜しくお願い致します。

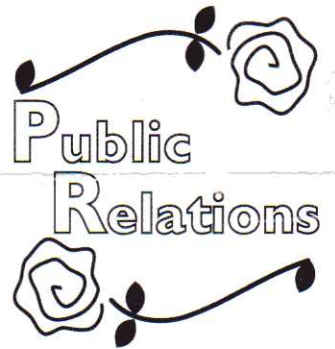
会計報告

第二回姫路獨協大学同窓会総会で承認されました会計について報告いたします。

(単位：円)

収入			支出		
科目	第2期予算	第1期決算	科目	第2期予算	第1期決算
進会員会費収入	20,130,000	0	会報関係費	2,040,000	63,000
寄付金収入	200,000	700,000	総会関係費	252,000	633,395
学友会からの振替	0	6,425,590	名簿作成費	0	6,426,325
預金利息収入	0	880	事務局関係費	1,330,000	1,155
雑収入	50,000	30,735	大学学園関係費	630,000	0
			支部活動関係費	130,000	0
[前期繰越金]	1,119,559	1,086,229	[次期繰越金]	17,117,559	1,119,559
合計	21,499,559	8,243,434	合計	21,499,559	8,243,434

※第1期 (平成9年9月～平成10年8月)  
※第2期 (平成10年9月～平成11年8月)



洋風伊酒屋

赤ぴいまん

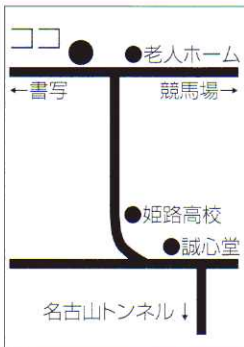
三村 修一郎

(平成7年法学部卒)

私は、第2期生として入学した、三村修一郎と申します。

私の様な人間が、同窓会の会報で、文章を書かせて頂くという事に、いささか、いや、大変恐縮に感じております。というのも、私は大学卒業までに、7年もの長い長い年月を費やし、努力努力を重ねた結果(?)卒業した真面目な学生であったからであります。

現在、私は姫路の御立において、小さなイタリア料理店を経営いたしております。宣伝のために書かせて頂くと、正式名称を『洋風伊酒屋 赤ぴいまん』と申します。開店3年目となりましたが、我が店も世間の例に漏れず、大不況のあおりを受け、毎日四苦八苦しております。しかし、私の場合7年間も学業にいそしんでいたため、自分で何かする以外なかったというのが



店の住所  
姫路市御立東五丁目一―五  
電話〇七九二(九二)一六四八

・同窓会会員には1ドリンクサービス  
会報をお持ち下さい。

本音です。サラリーマンをしてる友人から「もう辞めたい」という声をよく聞きます。しかし、今は何をしても一緒だと、私は思っています。卒業生の皆様、暗い世の中ではありますが、前向きにプラス思考で、明るくこの不況を乗り越えて行こうではありませんか！姫路獨協大学卒業生に栄光あれ!!



# 同窓生だより

## 「社会人になって」



平成10年 日本語学科卒

藤田 加寿子

現在、私は姫路信用金庫に勤めています。姫路獨協大学までのバス道のいたる所に支店があるので、卒業生の皆さんはよくご存知のことと思います。私は学生時代、銀行や信用金庫という所は、アルバイトのお給料を出金する時ぐらいいしか利用したことがなかったので、全く無知な状態で、入庫してしまっただけということになります。

四月に一週間、本店で研修を受け、二週間目からは、わけも分からぬまま配属店で働き始めました。見たこともない機械や、何に使うのかも分からない伝票の束、開店前から忙しそうに動き回る先輩方、絶え間なく鳴り響く電話のベル、初日から、自分は何をしたらいいいのか分からず、ただボーッと見ているだけで、本当にここでこれから働いていけるのだろうかかと不安ばかりが大きくなっていきました。何とか仕事らしいことが出来る様になってきたのが、三、四ヶ月目くらいでした。言い遅れましたが、私は定期性を担当し

ています。ちょうど三、四ヶ月目と言えば、ボーナスシーズンで、定期性は大変忙しくなるのです。忙しければ、他のことを考えている暇がなくなり、仕事に集中せざるを得なくなり、仕事に身につくということですが、

昨年の十一月からは定期性のことを全て任されています。今までは、指導して下さる先輩と一緒に仕事をしていたのですが、人事異動により人数が減少した為、私は一人で仕事をしなければならなくなりました。最初は、失敗もたくさんしましたし、一人では手がまわらず、途中で投げ出したこともありました。けれども、この仕事を任されているのは自分であり、またこの仕事を専門的にやっているのは自分しかいないのだと思うと、次第に責任感が自分の中に生まれてきました。学生の頃は、自分の中で好き、嫌いがはっきりしていて、嫌いなことには背を向けがちだったので、この仕事をする様になり、随分と忍耐強くなり、物事に対して

積極的に取り組む様になったと思います。就職して九ヶ月が経ち、やっと社会人としての自覚ができてきたのでしょうか。今はやっと基本的なことが何とかなら一人出来る様になったというだけで、まだまだという状態ですが、今の自分の気持ちを大切にしながら、他の卒業生の皆さんに負けぬ様、頑張りたいと思います。

お

ね

が

い

あなたの住所・電話番号・勤務先などに変更が生じた場合、また、結婚などで氏名を変更された場合には、ご面倒ですが同封のハガキにて本会事務局にご連絡をお願いいたします。  
なお99年3月に卒業される方は全員、連絡先が決まりましたら調査カードに記入の上、同窓会まで返信下さい。  
今後、同窓会報をお送りします。

### OB・OGからのメッセージ

・同窓会の発展を心からお祈りしております。私共も中国研究会というサークルにてOB会を昨年2/28に結成しました。これからも色々な形で交流を深めていきたいと思っております。

(H6中国語卒 F・N)  
・会報を読み、在学中のことを思い出しました。この会報が、今後も長く発行されることを期待しております。

(H7経済情報卒 Y・H)  
・私も出身校の同窓会役員をしていますので、大変さ、楽しさもよく分かります。頑張ってください。

(H8英語卒 K・M)  
・現在、作曲家をしています。総会の日にアルゼンチンに向けて演奏旅行に出発します。頑張ってください。

(H6ドイツ語卒 K・N)  
・今後もおもしろい会報を期待しています。頑張ってくださいね。

(H4英語卒 Y・T)  
・子育て奮闘中のため出席できませんが、いつか参加できる日を楽しみにしています。

(H3英語卒 M・T)  
・皆さん、お忙しい中、良き同窓会となるよう頑張ってください。

(H10日本語卒 Y・T)

## 広告募集中

あなたのお店を宣伝してみませんか  
地図・写真等を添えて、同窓会まで。

### 編集後記

同窓生の皆様、お元気でしようか。桃、桜のつぼみも一気にふくらみ、日一日と春めいてまいりました。

この度、同窓会報第3号を発行しました。今後は年2回会報を発行していこうと考えております。同窓生・在学生の活躍ぶりや大学に関するニュースなどをこれからも掲載していく予定です。同窓生同士はもちろん、在学生とのコミュニケーションになるよう、創っていききたいと思っておりますので、どしどし情報を知らせて下さいね。(K)

晶子